

2021 年 12 月

2050 年カーボンニュートラルに向けて

日本製薬団体連合会
会長 眞鍋 淳

昨今、気候変動に伴う温暖化の影響により、気象災害の激甚化が進んでいると言われてい
ます。生命関連企業である医薬品企業は、高品質の医薬品を安定的に提供することが最大の
使命ですが、その企業活動が地球温暖化の遠因となり、医薬品の安定的な提供や人々の健康
に悪影響を及ぼす要因となってはならないという観点から、日本製薬団体連合会（日薬連）
は気候変動問題に対しても積極的に取り組んでいかななくてはならないと考えます。

- 2020 年 10 月 26 日、菅総理（当時）が「2050 年までの温室効果ガスの排出を全体
としてゼロとする」宣言を示し、これを受けて、12 月 25 日に政府から「2050 年カ
ーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が公表されました。
- 2020 年 12 月 15 日、経団連は「2050 年カーボンニュートラル（Society 5.0 with Carbon
Neutral）実現に向けて」を公表し、2021 年 6 月 15 日はこれまでの低炭素社会実行計
画を「カーボンニュートラル行動計画」とする「グリーン成長の実現に向けた緊急提言」
を行いました。
- 2021 年 11 月 13 日、COP26（国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議）において、
気温上昇を 1.5 度以内にするという目標を維持し、2050 年までに温室効果ガス排出量
実質ゼロを目指すこととなりました。

これらを受け、日薬連は 2050 年カーボンニュートラルに向けて、「2050 年 CO₂排出量ネ
ットゼロ」を長期ビジョンとし、「CO₂排出量を 2030 年度に 2013 年度比で、46%削減（研
究所・工場・オフィス・営業車両）」をフェーズⅡ目標（2030 年目標）とする見直しを行い
ました。

日薬連は、以下の施策に取り組んでいきます。

1. 各団体が「2050 年カーボンニュートラル」に向けたビジョン及び目標を開示する。
2. 会員企業へ「2050 年カーボンニュートラル」に向けたビジョン及び目標設定を促す。
3. 目標設定企業名を各団体のホームページに記載する。
4. 再生可能エネルギー及び脱炭素技術の情報共有と導入推進を図る。

以上